【2004 年 9 月から 2011 年 4 月の間、前立腺 MRI を施行された患者さんへのお知らせ】

〈前立腺癌放射線治療後の MRI の有用性：後ろ向き研究による検討〉

当教室では、川崎医科大学・附属病院倫理委員会の承認を得て、2004 年 9 月から 2011 年 4 月の間、当院で前立腺 MRI を施行された方につきまして、前立腺癌放射線治療後の MRI の有用性を検討するための後方視的調査研究を実施いたします。

前立腺 MRI の HDR-BT（高線量率組織内照射）を含めた放射線治療後の合併症の評価、腫瘍の治癒過程の観察、治療効果判定や正常前立腺への影響、さらに再発診断に対する有用性を明らかにし、前立腺癌放射線治療後の診療における前立腺 MRI の有用性を明確にすることを目的としております。

調査実施期間は 2011 年 6 月 21 日から 2 年間の予定です。

1. 治療介入を伴わない「疫学研究」で、既存資料のみを用いた研究であるため、新たに人体資料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。なお本研究はいかなる製薬会社、製造機器メーカとも利害関係はありません。
2. 研究に関してご質問のある方は、下記までご一報くださいますようお願いいたします。

問い合わせ先：放射線科（画像診断 1）　玉田　勉

電子メール：　ttamada@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL:　086-462-1111

FAX:　086-464-1123